

大分パラ陸上 2017【IPC公認大会】

- 1 主 催
九州パラ陸上競技協会(大分パラ陸上実行委員会)
- 2 共 催 (予定)
大分県障がい者体育協会、大分身体障害者陸上競技協会、
- 3 後 援 (予定)
一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、日本知的障がい者陸上競技連盟、
大分県、大分県障害者スポーツ指導者協議会、カンパラプレス、
NPO 法人レスポインターナショナル、CHALLEATH
朝日新聞大分総局、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞、大分合同新聞、
OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、FM 大分
- 4 主 管 (予定)
一般財団法人大分陸上競技協会、大分パラ陸上実行委員会
- 5 協 力 (予定)
大分県障害者スポーツ指導者協議会、一般社団法人九州スポーツ歯科学研究所、
公益社団法人大分県理学療法士協会、大塚製薬株式会社
- 6 特別協賛(予定)
新日本製薬株式会社
- 7 協 賛 (予定)
株式会社大分銀行、
フンドーキン醤油株式会社、凸版印刷株式会社
コロプラス株式会社、パナレーサー株式会社、株式会社トキハ、株式会社マンドム、
株式会社別大興産、株式会社大分からあげ、ワン・ビジョン株式会社、
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社、株式会社九電工大分支店、
有限会社ユアーズ、株式会社レイアンドカンパニー、九州乳業株式会社、WSPro、
うすき製薬株式会社、株式会社富士通エフサス、キムラヤ有限会社、有限会社盛工業、
有限会社ウェルビー、美容室フィット 他
- 8 日 時
平成 29 年 5 月 6 日 (土) 10:00~20:00 (10:30 競技開始 19:00 競技終了予定)
- 9 会 場
大分銀行ドーム 大分市大字横尾 1351 番地
- 10 参加資格と制限
(1) 日本パラ陸上競技連盟の登録会員(2017年度)、またはIPC登録者であること。
(2) T/F20選手は日本知的障がい者陸上連盟登録会員(2017年度)であること。
(3) 外国選手はIPC登録者であること。

- (4) 5000m競走は、次のとおり参加標準記録を設ける。
男子 (過去2年以内に20分以内の記録を持つ者。)
女子 (過去2年以内に25分以内の記録を持つ者。)
- (5) T/F20種目は参加標準記録を設ける。
- (6) 参加種目の制限はないが1日で行うので、留意し棄権の際は棄権届を提出すること。

11 参加費 (予定)

- 1人 3,500円 参加費は締め切り日までに下記へ振込をお願いします。
※振込先 大分銀行 本店営業部 普通 6729560
大分陸上実行委員会 事務局 小野洋一
※昼の弁当代含む (追加が必要な方は+500円/人で振込こと)

12 表彰

- 世界記録(4月下旬を基準)により近い好成績をおさめた上位5名に対して協賛企業の記念品を贈呈する。
(各選手出場した種目の世界記録を100%とし、達成率を算出して2種目の合計で計算する)

13 参加申込

- 別紙申込書に記入し、平成29年3月30日までに下記へ申込みこと。(FAX可)
〒870-0131 大分市皆春 450-1-B102
小野 洋一 (おの よういち) 行
TEL 097-560-3002 FAX 097-560-3368
※ 大会ホームページの申込みフォームからエントリー可能。
※ 申込後大会事務局より参加申込決定通知はがきを送付する。
※ 決定通知ハガキが届かない場合は4/7までに事務局へ必ず連絡をすること。

14 競技グループ及び競技種目(2017年度のルールにより確定予定)

- 別紙競技グループ、別紙競技種目一覧のとおり。

15 クラス分け

- 国内クラス分けを行います。(国際クラス分けは行いません)
大会初参加の方は必ずクラス分けがありますので、早めに会場へ来て、受付後クラス分けを受けること。(申込後事務局より連絡)
大会中に日本パラ陸上競技連盟クラス分け委員から指示があった選手は、再度クラス分けを受けなくてはならない。またクラスに変更があった場合は本大会の記録を参考記録とする。
尚クラス分けについては日本パラ陸上競技連盟2017年度版クラス分け説明表を参照のこと。

16 競技規則及び申し合わせ事項

- (1) IAAF陸上競技連盟競技規則2016-17, 2016-17 IPC-Athletics 競技規則、及び本大会申し合わせ事項により行う。
(2) 運営上トラック種目において、5000m競走において25分以内の制限を設け、制限を越えた場合は競走の途中であっても中断し、記録は途中棄権とする。
(3) トラック種目のウォーミングアップについては、各競技の空き時間にトラックで行っても良いが、競技審判等より進行の妨げになる指示があった場合は速やかに中止し、

指示に従うこと。

- (4) 走高跳を除くフィールド競技における試技は、各種目とも6回とする。ただし、投擲競技における計測は競技運営上、各試技ごとに計測しないことがある。
- (5)トラック種目は予選・決勝を基本とするが、T20はすべてタイムレースとする。
- (6) 今大会はスタートインフォメーションシステムを使用しないので、T11~13、T20の100、200、400mはアジア記録・世界記録が申請できないことを確認しておくこと。
- (7) 100mT42~47は各クラスで9名集まればそのクラスで予選決勝を行うが、集まらない場合は、コンバインドで午前・午後で2レース行う。
- (8) ガイドランナー・コーラー等が必要な選手は各自で手配すること。
- (9) ナンバーカードを貼り付けるテープや安全ピンは各自で用意すること。
- (10) 招集は1回のみ。投擲跳躍：競技開始時間30分前 走競技：競技開始時間20分前

16 宿泊（予定）

宿泊は斡旋を行わないが、事務局から紹介は対応可能とする。ホームページ参照
交通手段は各自で手配すること。

17 ドーピング検査（以下、JADAからの注意喚起文による）

- ・本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ・本大会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがいドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- ・20歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる（同意書は日本パラ陸上競技連盟のホームページ「[医事委員会](#)」からダウンロードすることができる）。
- ・本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ・競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
- ・日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

18 個人情報について

主催者が知り得た個人情報は法令を厳守し、大会運営以外には使用しないものとする。

19 その他

- (1) この要項に定めるもののほか、大会運営に必要な事項は事務局及び大会実行委員長が協議し別に定める。
- (2) 主催者の責によらない事由で大会を中止した場合、参加費の返金は一切行わない。
- (3) 自己の責任で健康と安全に十分留意すること。主催者側で一括して傷害保険に加入するが、保険以上の負担は各自で行う。
- (4) 本大会は、国際大会出場への推薦資料とする。
- (5) 記録はホームページで翌日掲載を行う。
- (6) 写真・動画など撮影を行う者は、「撮影に関する注意事項」を確認しておくこと。

- (7) 大会の広報の為、大会中、写真・動画撮影を事務局も行う。
- (8) 競技に使用するレーザー・投擲台等は各自持参、または配送手配をすること。
- (9) 練習中など審判員から注意があった場合は指示に従うこと。
- (10) 世界記録およびアジア記録は、IPC 登録者でクラス分けステイタス (Review, Confirmed) を有する者によって達成された場合にのみ認められる。また個人の記録についても同様の資格を満たしている選手のみ IPC の公認記録として扱われるものとする。